

# 一般質問通告書

【第82回定例会】

多可町議会議長 清水 俊博 様  
 多可町議会議員 廣畑 幸子



受 領 日	番号
平成 29 年 12 月 / / 日	8
午前・午後 8 時 30 分	

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. 道路標識などについて	町長
別紙参照	
2. バイパスの検証について	町長
別紙参照	
3.	

## 質 問 の 内 容

1, まず最初に、道路標識やカーブミラーなどの管理についてお聞きします。

道路を安全かつ円滑な利用ができるために設置してあるものには、「規制標識」や「指示標識」、「案内標識」や「警戒標識」またカーブミラーなどがあります。

主に「案内標識」「警戒標識」は道路管理者（国・県・市町村）が、「規制標識」「指示標識」は都道府県公安委員会などが設置し管理しています。また、カーブミラーは町が設置しているものが主なものです。

そのカーブミラーですが、町内には、町が設置したもの、その他のものを含め、1000本以上設置してあります。

設置後の年数は様々です。多可町になってから設置したものももちろんあります。合併前旧町時代に設置されたものも多数あります。このカーブミラーですが、強風や腐食のため倒壊した事故が近隣でもありました。

多可町ではどうだろうと思っていたのですが、今年6月に倒れる事故がありました。もし歩いている人に当たっていたら、そしてけがをしていたら、経年劣化によるものですなどと言って済ませられるものではありません。安全安心のために設置してあるものが、凶器になっては困ります。

道路標識またカーブミラーはどのような管理・点検をされているのでしょうか。現状をまた、今後の対策などをお聞かせ下さい。

2, 次にバイパスの検証についてお聞きします。

多可町にはたくさんのバイパスがあります。

合併後、曾我井バイパスができました。現在工事中の天船バイパス、そしてこれから工事にかかる豊部バイパスなど、交通の利便性や安全のために、順次工事が進められています。

バイパスは、新たに造られた道ではありますが、まっすぐの道ばかりではありません。カーブもあれば、取り付け部との関係で、平坦では無く緩いかもしれません坂道になっています。

新しい道は、ドライバーの皆さんも気をつけて運転されています。

しかし、長年運転していると、慣れからスピードを出しすぎたり、大丈夫という思い込みから安全確認の不足を生じることがあります。

国道427号の西山地内のバイパスは、平成10年に完成しました。集落内の道幅が狭いにも関わらず交通量が多かったのですが、バイパス完成で危険度がずいぶん改善されました。

しかし今月初め、通称「こはるロード」から国道へ出る交差点で事故が起きました。けがの程度はあまりひどくはなかったと聞いていますが、エアバッグが飛び出すほどの衝撃がありました。

このバイパスは、完成してから 20 年近くになります。その間に環境も変わっています。清水坂トンネルの開通で車の通行量もずいぶん増えています。安全確保のためにも検証し、「信号機」設置なども視野に入れて考えられないでしょうか。